

平成 30 年度大船渡市地域安全推進協議会
委嘱状交付式及び第 2 回協議会議事録

1 開催日時及び場所

○日時 平成 30 年 11 月 1 日（木） 午前 10 時～11 時 50 分

○場所 シーパル大船渡 大会議室

2 委員数 20 名

3 出席者

○委員 17 名

- ・江 刺 由紀子（気仙地区少年警察ボランティア協会）
- ・山 下 タエ子（大船渡市社会福祉協議会）
- ・近 藤 均（大船渡市防犯協会連合会）
- ・竹 野 武 子（大船渡市民生児童委員協議会）
- ・木 下 美榮子（大船渡地区人権擁護委員会）
- ・及 川 のぶ子（大船渡市各種女性団体連絡協議会）
- ・金 野 千代子（大船渡市更生保護女性の会）
- ・谷 澤 通 広（大船渡市小中学校長会）
- ・鈴 木 宏 延（大船渡市 P T A 連合会）
- ・伊 藤 英 子（気仙地区保護司会）
- ・菊 池 まゆみ（大船渡商工会議所）
- ・阿 部 なつ子（大船渡市交通指導隊）
- ・松 本 育 子（大船渡市交通安全母の会連合会）
- ・大 野 則 幸（大船渡警察署生活安全課）
- ・西 村 精 一（大船渡警察署交通課）
- ・市 村 康 之【代理：伊藤晴喜】（大船渡市教育委員会事務局）
- ・後 藤 俊 一（大船渡市生活福祉部）

○事務局（大船渡市生活福祉部市民環境課） 4 名

市民環境課長 安田由紀男、課長補佐 鈴木康代
係長 今野宏、主任 互野久美子

4 議事の経過

《委嘱状交付式》

- (1) 開 会 安田課長の司会により進行する。
- (2) 委嘱状交付 委員 17 名に委嘱状を交付。（伊藤委員が代表受領）
- (3) 市長挨拶 戸田市長より挨拶。
(終了後、市長は退席。)

《協議会》

- (1) 開 会 鈴木課長補佐の司会により進行する。
- (2) 協 議

①会長の選任について

会長の選任方法を諮ったところ、事務局案との意見があった。事務局では江刺委員を推薦し、異議無く承認された。

(3) 会長挨拶

委員の皆様はそれぞれの組織で活動しているが、お互いに活動内容が分からないところもある。このような協議会の場は大変意義があると思う。関係機関等の横の軸の連携が不可欠。地域安全のために今後とも情報交換を密にし、皆様のご協力をよろしくお願ひしたい。

(4) 情報交換

ここから江刺会長が議長となり進行。

情報交換に入る前に、事務局から会長代理の選任について提案したところ、事務局案を求められ、高橋委員を推薦し、異議無く承認された。

事務局より、配布資料の説明をし、西村委員（交通課長）、大野委員（生活安全課長）それぞれから交通事故発生状況や犯罪認知件数等、資料により説明をいただいた。

[西村委員]

- ・大船渡管内での死者数は昨年同月と比較すると2名増加している。
- ・県内では、10月末時点での死者数が46名、うち32名が高齢者であり、全体の75%が高齢者と高くなっている。
- ・高齢ドライバーの事故発生割合が高いため、警察署としても免許の返納等対策が必要と考えている。先日は、一関市で7歳の子どもが跳ねられ、現在も意識不明の重体と大変痛ましい事故も発生している。
- ・大船渡管内の交通事故の特徴ですが、90件のうち20件がシカとの衝突による事故となっている。

[大野委員]

- ・9月末時点で大船渡市での犯罪認知件数は56件。うち住宅対象の侵入窃盗が3件。万引きが14件発生している。大船渡市内での無施錠被害は0件となっており、施錠率は高いと言える。
- ・特殊詐欺の被害は今のところはないが、予兆電話の相談は頻繁に発生している。マスコミを語って個人情報聞き取る手口や、不審なハガキやメールによる架空請求詐欺が増えている。
- ・市内での子どもや女性に対する声かけ事案等については、急増している状況にある。通学路での子どもの連れ去り事件等が他県でも発生しているが、いつどこで被害が起きるか分からない。こうした背景と不審者に対する関心が昨年より高まったことが件数の増加の一因となっていると思われる。
- ・不審者を発見したら、すぐに通報して欲しい。情報が早ければ早いほど行為者の特定につながる。車両ナンバーや人物の特徴などに意識を向けて欲しい。
- ・警察署としては、「ながら見守り」をお願いしたい。買い物しながら。通勤しながら。散歩しながら。瞬間的な見守りを、誰でも容易にできることから効果的である。

～特殊詐欺についてのビデオと録音した音声データを 30 分程度視聴～

[近藤委員]

車の早め点灯について、最近の車では自動的に点灯するものもあるが、今でも暗い中、無点灯で走っている車もあり、非常に危険である。事故防止に何かよい手立てはないか。

[西村委員]

大船渡地区では 30%くらいで増えてきている。個人のモラルの問題であり地道な努力が必要。

[金野委員]

ライトを付けないのは女性が多いように思う。トンネルに入っても付けない人もいる。女性の集まりなどで周知していきればと思う。

[谷澤委員]

4 月には安全教室。12 月には登校指導。また年に 2 回、下校時避難訓練も行い、子どもたちへの安全教育について指導を行っている。

[江刺会長]

市内には歩道のない道路も多いので、子どもたちには十分気をつけて通学して欲しい。

[金野委員]

市から還付金の通知が届いた。税務課窓口で交付しますとのことだが、口座振込はないのか。

[後藤委員]

還付金の内容にもよるが、後期高齢については口座振込も行っている。

[伊藤委員]

振込詐欺のビデオ大変良かった。私自身、警察署からの電話が来ると動揺してしまうことがある。先日、夫の携帯電話を伝えてしまったが、数日後警察署から折り返し連絡がきて安心した。警察署からの電話がかかってくると舞い上がってしまう。

[山下委員]

自分の失敗であるが、病院へ時計を忘れてしまい、後から取りに行ったら、自分のものなのに、事細かく聞かれた。

[及川委員]

NTT 光ファイバーの勧誘で、今使用している電話番号が使えなくなりますという電話で、困っていたが、市の広報に類似のケースが紹介されていたので安心した。

[木下委員]

当協議会で作成した、車に掲示している防犯パトロールカードが大変有効である。皆さんも是非貼って欲しい。

[近藤委員]

民生委員の女性で、高額な請求が届いたという事例があったが、市の消費生活センターへ相談し、クーリングオフの手続きができてホッとした。

[鈴木委員]

子どもに対する声かけ事案が増えてきているようだが、日頃市地区では通学エリアも広範囲に及んでおり、見守りも難しくなるが、地域全体での取り組みが機能していればと期待している。また市内での子どもへの声かけ事案について、行為者は特定されているのか。

[大野委員]

認知した事案の6割から7割は、行為者の特定に至っている。同一人物による複数の声かけ事案もあるが、全ての事案が悪意や事件性がある事案ではなく、悪意のない声かけを子どもが勘違いした事案なども含まれている。

[松本委員]

子どもたちの登下校時の歩行が危険である。ふざけながら歩いているので危ない。大事故につながらなければと思っている。

[阿部委員]

毎朝、子どもたちの通学時間に立って交通指導している。スクールガード、見守り隊の方で、座って見ている人がいるようだ。気になっているが、教育委員会では指導等はしているのか。

[市村委員] (代理：伊藤補佐)

スクールガードについては各地区でお願いしている。教育委員会では、そこまでは介入していない。

[阿部委員]

丸森の方で、物がなくなって困っている人がいる。主人が大工をしており買ってきた材料がなくなっているようだ。警察の方ではパトロールを行っているのか。

[西村委員]

警察署では毎晩警戒にあたっている。事件（窃盗）の可能性が大きいので、そのような情報は110番で連絡して欲しい。

[竹野委員]

児童虐待の問題について、北上では大きな事件があったが、管轄の盛岡児童相談所まで辿り着くまでの間に、被害が大きくなってしまったようだ。大船渡は一関の児童相談所が管轄となっている。児童の虐待について、家庭内で発生しているため目の行き届かない事が多いが、大野委員がお話した、「ながら見守り」については大変共感する。見守り活動として大変効果的と感じる。

(5) そ の 他

特になし。

午前11時50分閉会。